

## 「山とみどりのフェスティバル」に出展！！ ～” 森の工作 ” を体験～

例年より遅い紅葉にも、たくさんの観光客が訪れた令和6年11月3日、明治の森箕面公園の瀧安寺(りゅうあんじ)前広場において、「山とみどりのフェスティバル(主催:箕面市、NPO法人みのお森林山麓保全委員会)」が開催され、当センターは、箕面の森林を感じてもらう取組として、『森の工作』を出展しました。有名な箕面大滝に向かう「滝道」に近いこともあり、家族連れや訪日の外国の方など、多くの方が立ち寄られました。

今年度は工作のため、リスの食痕である「森のエビフライ」と、枝を顔に見たててキーホルダーを作成する「もっくんづくり」を体験してもらいました。工作の参加者は、リスが作り出す食痕の形を興味深そうにながめた後、赤いしっぽなどをつけよりエビフライに近づけたキーホルダーを作って楽しそうにしていました。「もっくんづくり」では工夫してリボンをつけ、より可愛くなった「もっくん」を見せてくれる子もいました。通りがかる外国の方には、当センター職員が作成した沿道の樹木について紹介した外国語のチラシを手にとって頂き、理解を深めてもらいました。また、会場に設置された「ふれあいステージ」では、職員が作った創作紙芝居「雨水のぼうけん」と「もくざいのヒミツ」を上演し、小さな子どもをはじめ多くの方々から好評を得ました。



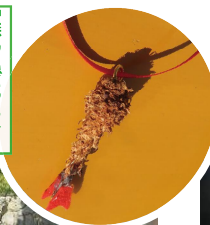
展示ブースの様子



創作紙芝居「雨水のぼうけん」の上演

### 『森の工作』体験

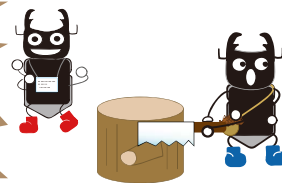
「森のヒミツ」



「もっくん」



# 「森林環境教育」の実践



令和6年11月10日(日)、箕面国有林において日本森林ボランティア協会の協力を得て、子ども17名(学生)と大人23名を対象にした森林教室を行いました。

午前中は、ボランティア協会の指導で除伐及びササ刈りをして頂きました。普段は鎌などを持たない子どもたちは、慣れないながらも丁寧に作業をしていました。午後は、ネイチャーゲームとシカと森林の現状についての話をしました。最初は、背中に動物の写真をつけて他の人にヒントをもらい、その動物を当てるネイチャーゲーム「動物交差点」をしてもらいました。参加者は皆考えて質問をし、次々と自分の背中に貼られた動物を当て楽しそうにしていました。次に、リスなどの貯蓄の特性を模したゲーム「ごちそうはどこだ」をおこないました。参加者は2チームに分かれ、互いの陣地に隠しあった「エビフライ」を探しあった後に、今度は自陣に隠したはずの「エビフライ」を探すという行動を通し、リスは森中に木の実などを隠すが、結局は他の動物に食べられたり、自分で隠したにもかかわらず忘れてしまうということを、知って頂きました。参加者は再度隠した物を探すとなると意外と見つからないものだと感心していました。



『ボランティア協会』からの説明



ノコギリ体験



ゲーム「ごちそうはどこだ」を体験

最後に、シカの食害を防止するために設置された防護柵の前で、内側と外側を見比べ植生の繁茂状況の違いに驚きながらも、増えすぎたシカによる森林の現状について真剣に聞き入っていました。

わたしは  
どんな鳴き声  
ですか？

動物交差点

わたしのは  
何本ですか？

